

岩見沢市子ども計画の内容等について

(答申)

本会議は、令和6年9月9日に貴職から諮問された「岩見沢市子ども計画の内容等」について審議してきましたが、このたび諮問事項について結論を得たので、ここに答申します。

令和7年3月 日

岩見沢市長 松野 哲 様

岩見沢市子ども・子育て会議

会 長 平 野 直 己

副会長 藤 根 美 穂  
奥 田 知 靖  
菊 地 和 子  
佐 藤 善 樹  
野 沢 修 一  
上 野 喜 孝  
藤 田 雅 子  
齊 藤 公 伸  
藤 原 智 美  
大 浦 友 貴

# 案

## 岩見沢市こども計画答申書

こども・子育て支援は社会全体で取り組むべきものです。

こども政策が市民にとってわかりやすいものとなるよう、第2期岩見沢市子ども・子育てプランに内包する子ども・子育て支援法に基づく市町村子ども・子育て支援事業計画、次世代育成支援対策推進法に基づく次世代育成支援行動計画、子どもの貧困対策の推進に関する法律に基づく市町村計画、児童虐待防止法及び児童福祉法に基づく市町村における児童虐待防止に関する計画に加え、少子化社会対策基本法に基づく総合的かつ長期的な少子化に対処するための施策、子ども・若者育成支援推進法に基づく市町村子ども・若者計画、成育過程にある者及びその保護者並びに妊産婦に対し必要な成育医療等を切れ目なく提供するための施策の総合的な推進に関する法律に基づく母子保健を含む成育医療等に関する計画、母子及び父子並びに寡婦福祉法に基づく自立促進計画といったこども分野を一体的に整備し、その名称を「岩見沢市こども計画」とし、以下の内容について反映されたい。

### 1 計画の位置づけ

計画の策定に当たっては、上記各計画に必要な施策を併せ持つこと。

### 2 基本理念ならびに基本的な考え方について

基本理念については、第1期、第2期プランで定めた「ひとの絆で紡ぐ笑顔の輪」を引き続き反映させること。

基本理念の実現に当たっては、こどもと子育てについて「支える人」と「支えられる人」がその時々によって立場を変え、一人ひとりの成長と満足に繋がるといふ第1期、第2期プランの考え方を基に、若者も含めた地域全体で共に成長するという視点に発展させ、構成や内容に反映させること。

### 3 3つの視点と事業の優先順位について

基本理念を実現するための具体的な方策に関する考え方は、第2期プランに引き続き「安全」「安心」「笑顔」の3つの視点で整理し、具体的な事業の実施については、優先順位を明らかにして取り組むこと。

### 4 計画の推進について

子ども・子育て支援事業計画初年度において量の見込みに応じた確保方を講じることのできない事業は、地域資源の活用や民間団体等との連携を検討するなど広い視野を持って計画期間内に確保方を講じること。また、毎年事業評価や見直しに当たっては、こども・若者、子育て当事者の意見を聴くなど、事業の有効性を評価しながら、取り組むこと。